

Dialogue 32 Saying someone must not do something -してはいけないことをいう-

教室での活動案

アクティビティ名：「**これは禁止!**」

Target Expression: You **mustn't** ～.

ターゲット表現の「禁止事項」を、絵を見て発話する Listen & Repeat 活動とその発展。

用意するもの：

圭とジュリーの絵

禁止事項の絵を描いた張り紙。

禁止事項の絵： 家の中で靴をはく(wear shoes in the house)、
夜8時以降テレビを見る(watch TV after 8:00)
夜うるさくする(be too noisy at night)、など

★黒板に示されたカードに合わせ、圭かジュリーになったつもりで
動作の吹き出しカードに描かれている表現を「してはいけない」という。

- ① 教師がはじめに言ったせりふを生徒が繰り返して練習する。
- ② 生徒をあてて、吹き出しカードのセリフを言わせる。
- ③ 生徒同士で吹き出しカードを選んでお互いにたずねあう。

例)

Teacher: Key is talking to Julie about his house rules. First, this. You mustn't wear shoes in the house. Repeat.

Classroom: You mustn't wear shoes in the house.

教師：圭がジュリーにおうちのルールについて話しています。最初はこれ。家の中で靴をはかない。繰り返して。

教室：家の中で靴をはかない。

【発展】

上記の活動から発展させ、クラスのルール作りをします。

- ① 生徒に教室でやってはいけないことを出してもらい、箇条書きか簡単な絵でそれを黒板に書いていく。
- ② 生徒が出した禁止事項を英語で教師が言い、生徒にリピートさせる。

ルール(してはいけないこと)の例：

走る(run)、うるさくする(be too noisy)、ボールをける(kick the ball)、
殴り合いのケンカする(blow)、廊下を走る、など

例)

Teacher: Today, we are going to decide our class rules. What mustn't we do in the classroom?

Student: *hashiru!*

Teacher: Yes, we mustn't run in the classroom. Repeat! We mustn't run in the classroom.

Classroom: We mustn't run in the classroom.

教師：今日はみんなでクラスのルールを決めましょう。教室でやっちゃいけないことってなんだろう？

生徒：走る！

教師：そうだね。私たちは教室で走ってはいけません。繰り返してみよう。私たちは教室で走ってはいけません。

教室：私たちは教室で走ってはいけません。